

わくわく須恵っ子

令和4年6月15日
須恵小学校便り 3号

やる気いっぱい
笑顔いっぱい
元気いっぱい

人権教育～自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること～

熊本県では6月を「心のきずなを深める月間」とし、県下の学校では、いじめを許さない学校・学級を目指した取組を行っています。本校では、6月6日～17日に「人権旬間」を設定し、各学年で人権学習を実施したり、運営委員会が中心となって人権集会を行ったりとしています。様々な取組を通して、人権問題への意識を高めるとともに、差別やいじめをなくそうとする実践的な態度を培っていきたくて考えています。今回は、各学級の人権学習の様子をご紹介します。また、裏面にR2.6.29に施行された「熊本県部落差別の解消の推進に関する条例」についての通知を載せていますので、ご覧ください。



1年生

「ちくちくことば」を「ふわふわことば」にいいかえる学習をして、心があったかくなりました。



2年生

「ええやんそのまま」 という絵本の読み聞かせから、「そのままの自分のよさ」について考えました。



3年生

「おにいちゃん」という教材から、水俣病患者の気持ちや差別についてしっかり考えました。



4年生

「こんぴらさんのすもう」という教材から、「自分なら？」という視点で部落差別について考えました。



5年生

「めぐみ」(拉致問題啓発教材)から、「人権とは?」「拉致とは?」「残された家族の思いは?」「奪われたことは?」など様々な視点から、今の自分を見つめ直し、しっかり考えて発表していました。



6年生

★和綿の種まき★

6月8日に、1年生が初めての和綿の種まきにチャレンジしました。高校生とも一緒に楽しかったようです。



語り部の会～地域の方を講師にお迎えして～

6月9日に第1回目の語り部の会講話がありました。子どもたちも語り部の方々のお話に聞き入っていました。

【語り部の方々】

- 1年：伊津野 幸一さん
- 2年：遠山 好勝さん
- 3年：高田 博さん
- 4年：桑原 毅紀さん
- 5年：坂本 健一郎さん
- 6年：愛甲 利孝さん

